# 先の見えない時代の地域計画
# 意義と課題

## 仙台市新基本計画の検討から

地域未来学「未来構築」

2021.7.3

東北大学
奥村　誠

https://forms.gle/aGy3y4MzN8n69Exk7

東北大学災害科学国際研究所 教授

## 奥村 誠さん

■プロフィール／東北大学災害科学国際研究所人間・社会対応研究部門、被災地支援研究分野担当。大学院工学研究科土木工学専攻、東北アジア研究センター兼任。都市計画や土木計画学を専門とし、仙台市の新たな基本計画の審議を行う仙台市総合計画審議会の会長を務める

2018年10月から，新しい総合計画策定のための審議会を開催

市民アンケート

市政だより
令和元年9月
号



# みんなの想(おも)いで描く、仙台の未来。

## ―新総合計画に関する全市民アンケートにご協力ください

### 新しい総合計画を策定しています

総合計画とは、本市が目指す都市の姿とその実現に向けた施策の方向性を示すまちづくりの指針となるもの。現在の計画は、令和2年度で計画期間を終えることから、令和3年度から12年度までの10年間を計画期間とする新たな総合計画作りに取り組んでいます。

策定に当たり、学識経験者や市民活動団体の代表者などで構成される「総合計画審議会」を平成30年10月に設置。これまで計6回にわたり議論を重ね、7月10日の審議会では、審議経過を取りまとめました。今後は2つの部会に分かれて、議論を進めていきます。

### 都市個性を生かしたまちづくりへ

本市には、伊達政宗公の時代からつながる歴史の中で培われてきた杜の都の都市環境、東日本大震災からの復興を通じて世界に発信してきた防災力の高いまちづくり、多くの若者が集う学都としての機能集積、市民の力で築き上げてきた共生の理念、東北唯一の政令指定都市として持つ中枢機能など、誇るべき都市個性があります。また、市民協働によるまちづくりを進めてきた市民の力もかけがえのない財産と言えます。

審議会では、この都市個性を「環境」「共生」「学び」「活力」の4つで表現。市民協働の理念の下、4つの都市個性を相互に掛け合わせ、生かし合う。このことをまちづくりを進める上での価値観として市民と共有し、創意工夫と挑戦を重ねながら、仙台が仙台らしく輝ける「新たな杜の都」を目指すとしています。

### 皆さんの想いをお寄せください

これからのまちづくりには、市民の皆さんをはじめ、多様な主体による協働が不可欠です。審議会では、「新たな杜の都」の実現に向けて都市個性を生かしたまちづくりを進めるため「7つの重点的な取り組みの視点」（5ページ参照）をまとめました。今後、この視点を基に皆さんのご意見を伺いながら、さらに議論を深めていきます。

7つの視点について、それぞれ現在の達成度や重要度、また未来に向けて力を入れるべきだと思う取り組みについて「全市民アンケート」を行います。いただいたご意見は、総合計画審議会へ報告します。皆さんの想いを集めて、仙台の未来を描いていきます。ぜひ、ご意見をお寄せください。

**全市民アンケートにご回答ください**

16ページの綴(と)じ込みはがきに回答を記入の上、**9月30日まで**に投函してください。

市ホームページの専用フォームからも回答できます。

# 市民アンケート

# 市政だより
# 令和元年9月号
# 綴じ込み

## 仙台の現状達成度
## 仙台の重点政策

料金受取人払郵便

仙台中央局
承　　認
4738

差出有効期間
令和元年10月
4日まで
（切手不要）

郵便はがき

980-8783

仙台市青葉区国分町三丁目七番一号

仙台市役所　政策企画課 行

**ぜひ全市民アンケートにご協力ください。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ● 性別 | 1　男 | 2　女 | |
| ● 年齢 | 1　19歳以下 | 2　20~29歳 | 3　30~39歳 |
| | 4　40~49歳 | 5　50~59歳 | 6　60~69歳 |
| | 7　70~79歳 | 8　80歳以上 | |

※氏名、住所、電話番号は記入しないでください

**問1**　仙台の未来に向けて、**力を入れるべきだと思う取り組み**がありましたら、お書きください。

# 市民アンケート

## 仙台の現状達成度
## 仙台の重点政策

**問2** ①～⑦は「仙台市が目指す状況」の説明文です。
※市政だより4～5ページをご覧ください。

(1) **現在の仙台** は、**実現できている**と思いますか。

(2) **仙台の未来** にとって、**この実現に向けて取り組むことは重要**だと思いますか。

(あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。)

| | ○ 実現できている | △ どちらともいえない | × 実現できていない | ? わからない | ◎ 特に重要である | ○ 重要である | × 重要でない | ? わからない |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① 仙台を磨き伝える<br>世界に誇る防災力、自然環境を活かした快適な「杜の都」のまちづくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 仙台でともに活きる<br>世代や性別、障害、国籍など、さまざまな立場の考えを活かし合える社会 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 仙台で暮らす<br>町内会をはじめ多様な主体が協働し、安全・安心に暮らせる地域社会 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 仙台で育つ<br>子ども・子育て家庭に優しい環境をつくり、子どもがたくましく育つ地域社会 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 仙台で学ぶ・活かす<br>多彩な学び合いの環境づくりと学びを活かしてチャレンジできるまち | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 仙台で働く<br>働く場所として選ばれ、多様な人材が地域経済を活性化させるまち | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 躍動する仙台を創る<br>東北の中枢としての都市機能を備え、活力と賑わいのあるまち | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |

# ７つの重点的な取り組みの視点

## 1 仙台を磨き伝える
### ―世界に輝く杜の都の深化と継承

**目指す状況** 世界に誇る防災力を持ち、豊かな自然を生かした快適で品格のある都市環境の構築および都市ブランドの確立

▲世界防災フォーラム/防災ダボス会議@仙台2017（平成29年開催）

**取り組み例** 東日本大震災の教訓の継承・発信、自然・歴史資産の利活用と緑の保全、脱炭素社会の実現など

## 2 仙台でともに活きる
### ―多様性が活きるまちの実現

**目指す状況** 世代や性別、障害の有無、国籍にかかわらず、互いに相手をおもんぱかる関係が構築され、また、多様な考えをより良いまちづくりのために生かし合える社会の形成

**取り組み例** 多様な主体間の交流、心と命を守る支え合いの基盤づくり、誰もが生きがいを感じ活躍できる環境の構築など

## 3 仙台で暮らす
### ―地域コミュニティーの強化

**目指す状況** 人口減少・少子高齢化社会に向け、町内会をはじめ、NPOや企業、学校など多様な主体が「協働」で地域づくりに取り組むことで、顔の見える関係が広がり、誰もが安全・安心に暮らせる地域社会の形成

**取り組み例** 町内会やNPO等が活動を継続し、連携しやすい環境づくり、安全・安心で快適な居住環境の確保など

## 4 仙台で育つ
### ―子ども・子育て応援まちづくり

**目指す状況** 子どもたちとの関わりを通じて家庭、学校、地域などが相互に協力し、このまちで子どもを産んで良かった、育てることができて良かったと思える環境をつくり、子どもたちが安心して学び遊んで、心身ともにたくましく育つ地域社会の形成

▲のびすく宮城野

**取り組み例** 全市的な子育て支援ネットワークの構築、社会の変化に適応できる柔軟性を持った子どもの育成など

## 5 仙台で学ぶ・活かす
### ―学びの環境づくりとチャレンジ応援

くましく育つ地域社会の形成

できる柔軟性を持った子どもの育成など

## 5 仙台で学ぶ・活かす

### ―学びの環境づくりとチャレンジ応援

**目指す状況** 多彩な学びを享受できる環境の充実とともに、大学などの教育機関や学生・児童生徒などが地域に関わり、さまざまな主体と共に学び合える環境が構築され、あらゆるライフステージにおいて学びを活躍につなげる、チャレンジを応援するまちの実現

**取り組み例** 地域づくりを実践する学びの場の創出など

## 6 仙台で働く

### ―働く場所として選ばれる環境づくり

**目指す状況** 地元企業の経営力・魅力が向上し、働きがいやチャレンジのしやすさという観点で、働く場所として選ばれ、多様な人材の力が地域経済を活性化するまちの実現

**取り組み例** 地元企業の成長支援、イノベーションによる成長促進、若者の地元定着の促進、多様な働き方の実現など

## 7 躍動する仙台を創る

### ―都心再構築と交流都市づくり

**目指す状況** 東北の中枢である仙台の都心において民間投資を呼び込む魅力的な都市機能を備えるとともに、国内外から人が交流を求め集う、にぎわいや活力あふれる楽しめるまちの実現

▲仙台・青葉まつり

**取り組み例** にぎわい創出に資するビルの建設誘導、歩いて楽しめる都心づくり、交流人口ビジネスの活性化、東北の魅力の発信強化など

## 市民まちづくりフォーラムにご参加ください！

●日時＝10月14日㈷13:00～16:30　●会場＝仙台国際センター展示棟　●内容＝7つの視点に関するテーマごとにこれからのまちづくりの方向性を考えるワークショップを行います　●対象＝高校生以上120人〔抽選〕　●託児有り。詳しくはお問い合わせください

**申**市役所本庁舎1階市民のへや、区役所総合案内、市民センターで配布するチラシに添付の参加希望票で、9月20日までに。市ホームページからも申し込めます

この特集に関する問い合わせは、政策企画課☎214･8475、FAX268･4311

# アンケート1,2

皆さんも市民アンケートにお答えください

https://forms.gle/aGy3y4MzN8n69Exk7

[1] 現在の仙台では，次のそれぞれの項目は実現できていると思いますか？

[2] 仙台の未来にとって，次のそれぞれの項目の実現にむけて取り組むことは重要だと思いますか？

①仙台を磨き伝える

②仙台でともに活きる

③仙台で暮らす

④仙台で育つ

⑤仙台で学ぶ・活かす

⑥仙台で働く

⑦躍動する仙台を創る

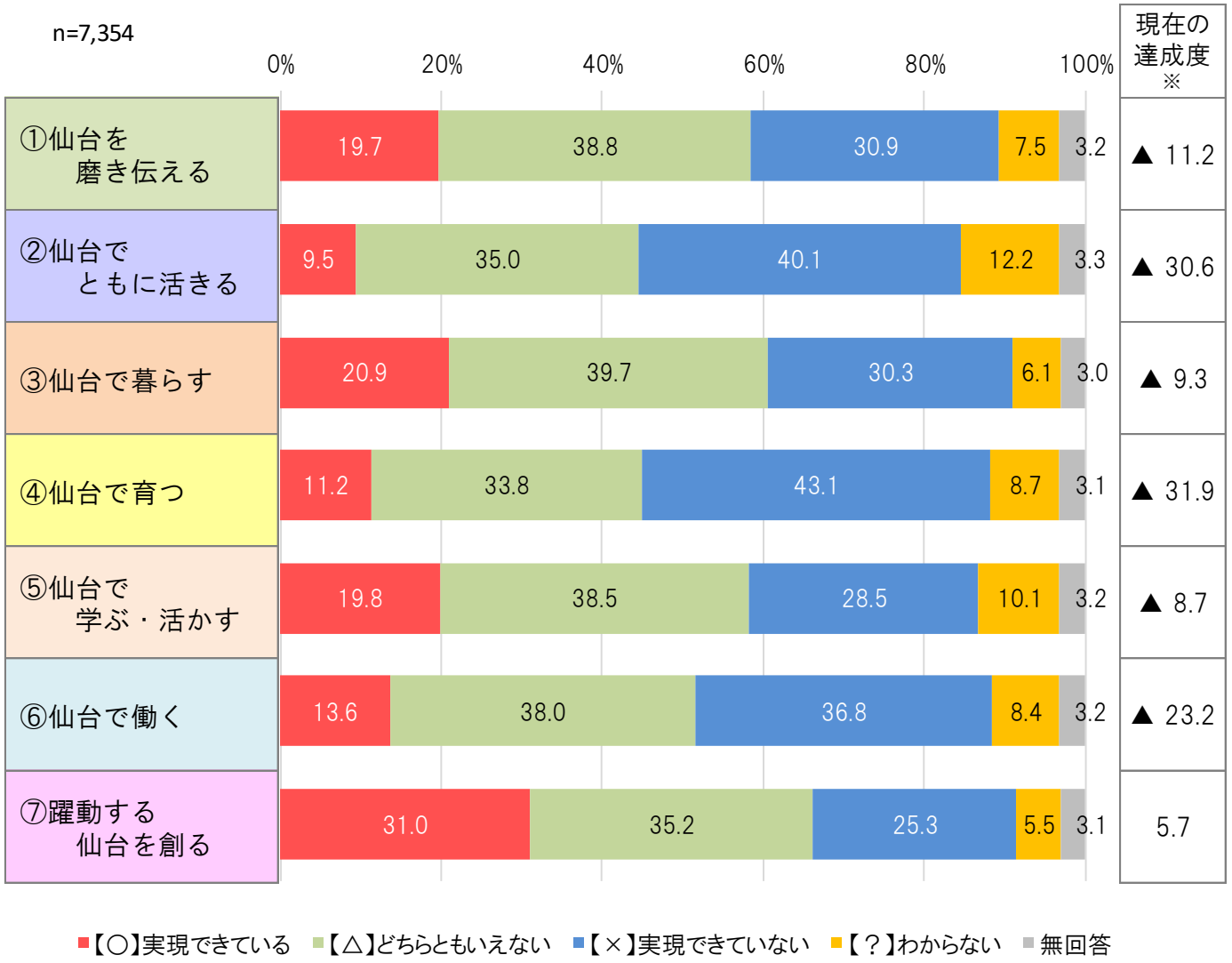
# アンケート1,2

## 皆さんの回答結果

https://docs.google.com/forms/d/1CK8hhzUg2qGeJj6Rw4larqZPcpRWggLDlbvzVlbF20g/edit#responses

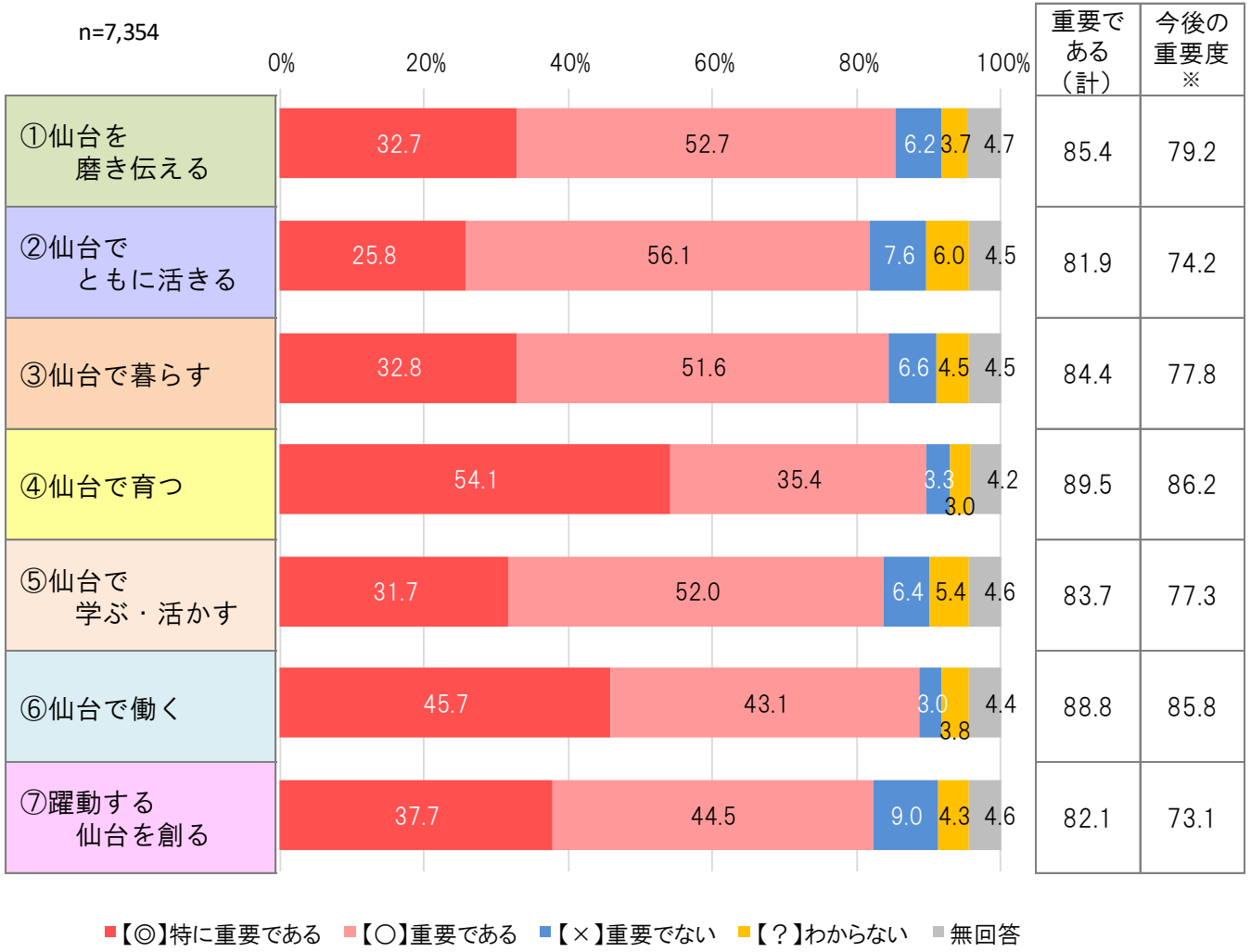
# 7350人の集計結果

図　7つの「仙台市が目指す状況」
＜現在の達成度＞




※「現在の達成度」は、「実現できている（%）」－「実現できていない（%）」のスコア

図　7つの「仙台市が目指す状況」
＜今後の重要度＞




※「重要である（計）」は、「特に重要である（%）」＋「重要である（%）」のスコア
※「今後の重要度」は、「特に重要である（%）＋重要である（%）」－「重要でない（%）」のスコア

「現在の達成度」「今後の重要度」ともにプラス評価（右上のゾーン）であるのは、**「⑦躍動する仙台を創る」**のみである。

他の6つの項目は「現在の達成度はまだ低いが、今後の取り組みが重要」（左上のゾーン）となり、特に、**「④仙台で育つ」**、**「②仙台でともに活きる」**、**「⑥仙台で働く」**は現状のマイナス評価をプラス方向に推し進めるような重点的な取り組みが求められる。

図　現在の達成度×今後の重要度

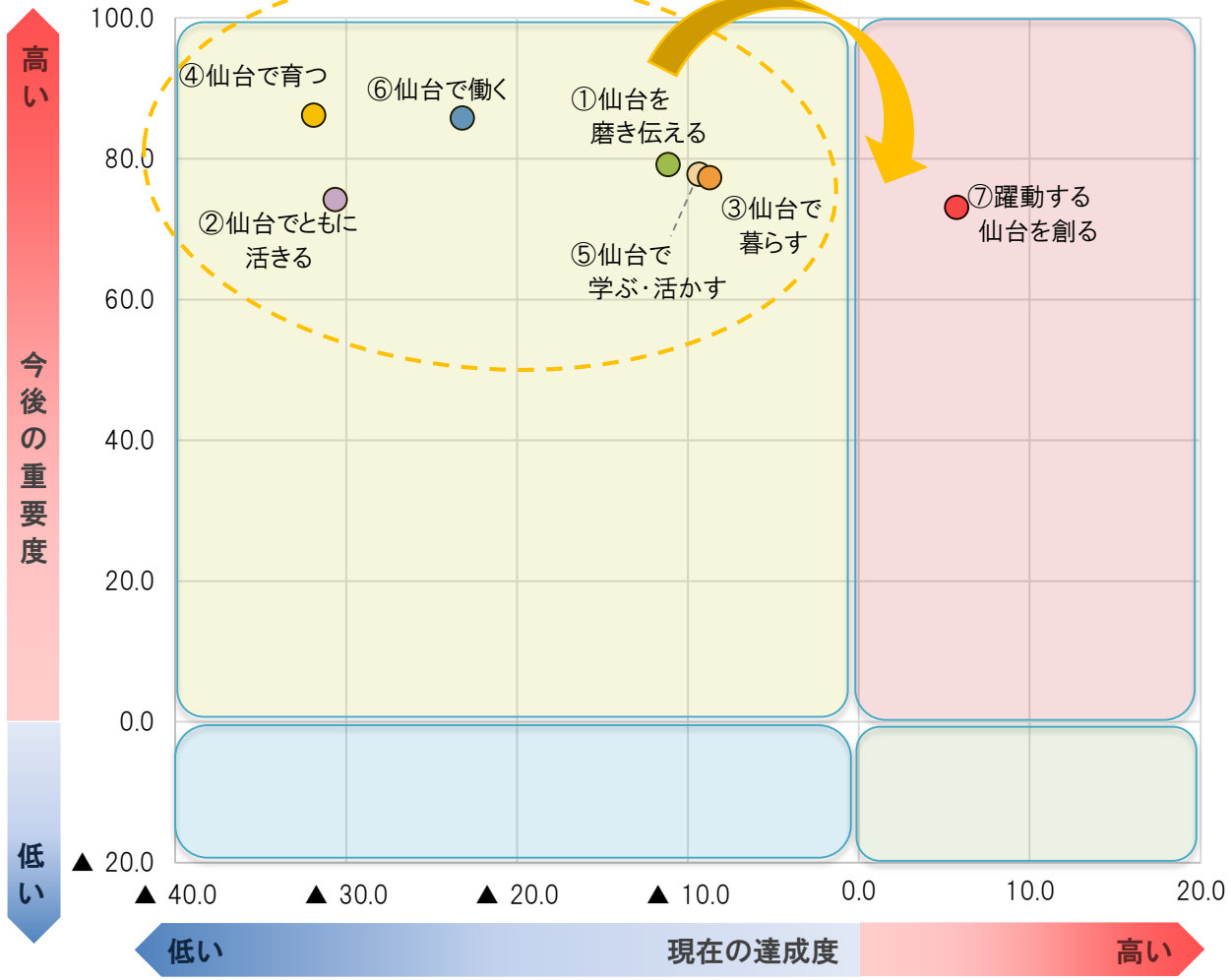
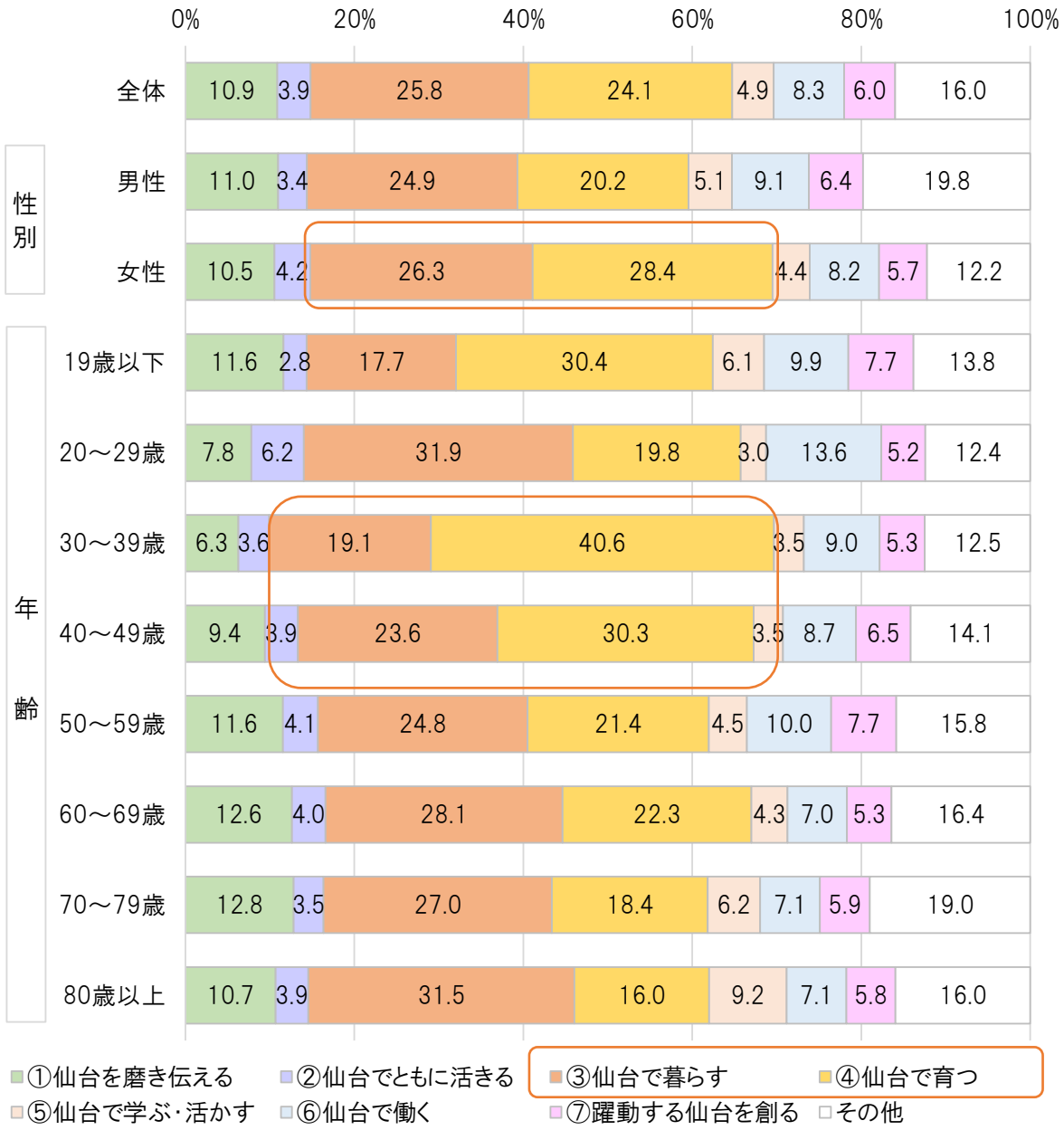


図　未来に向けて力を入れるべきだと思う取り組み（性別・年齢別）




※各階層における「意見の数」の総数に占める割合

ファミリー層
女性で，
くらし，
子育て
のニーズが
大きい

# 市民にアンケートを取ると

- どの項目も，「進めるべき」という意見が出る．
- 年齢，性別により意見の分布は異なる．
- 特定の年齢・性別でも，人によって求める内容は異なる．

- 結局「全部重要で全部進める」ことになる．
  - 総花的計画になる，一般的で個性が見えない
- 一方で，財政・人材的に，すべてに力を注ぐことは難しい
- どこに重点を置けばいいのだろうか？

# 総花的計画・バラマキ計画の危険性

- 専門分野の異なる委員も30名
- 「何をやりたいか？」「何が重要か？」の議論すると・・・
  - 限られた資源（財源）の取り合いになる.
  - 総花・バラマキの計画となる.
  - 「広すぎ薄すぎ」実効性が期待できない.

# 総花的計画・バラマキ計画の危険性

- 専門分野の異なる委員も30名
- 「何をやりたいか？」「何が重要か？」の議論すると・・・
  - 限られた資源（財源）の取り合いになる.
  - 総花・バラマキの計画となる.
  - 「広すぎ薄すぎ」実効性が期待できない.

- 少数の政策(プロジェクト)に資源を集中投入する
  - 参画を掛け合わせ，全員が成果を持ち帰る.
  - 例えば，教育や福祉などの生活課題解決に，IT技術を生かした取り組みを募る.
  - 問題解決，能力向上，事業化の後押しを同時達成
- 舞台全体ではなく，少数のスポットを照らす
  - 光が来るのを待たず，近いスポットに移動してもらう
  - 自分野の重要性の主張よりも，他分野への貢献を

# 「やらねばならないこと」ではなく，「やってみたいこと」を書く計画へ

- 行政が「やらなければならない」事業
  - 国が憲法で保障している「健康で文化的な最低限度の生活」「基本的人権」の維持のためのシビルミニマム的な事業・サービス（機関委任事務）
  - 「総合計画」に書かなくても「嫌でも」やらなければならない，そしてそれらはさまざま！
- 「総合計画」に列挙しなくても，実施される

- 「不可欠」な事業ではないが，本市が発展していくために「ぜひやりたいこと」を書きたい！
  - 東北，日本，世界を牽引するための新しい挑戦
  - 弱点解消ではなく，強みの伸長のための個性的計画

# 仙台で大切にしたい個性

これまで仙台が培ってきた4つの都市個性をより強めていくことで、世界に誇れる「新しい杜の都」を目指します

# アンケート3,4 NHK 日本人の意識調査と同様の項目についてお答えください。

https://forms.gle/ruXStAEoeLDPehe56

[3] あなたの日々の生活の目標は，次の4つのどれに近いですか？

- その日，その日を，自由に楽しく過ごす.
- しっかりと計画を立てて，豊かな生活を築く
- 身近な人たちと，なごやかな毎日を送る
- みんなと力を合わせて，世の中をよくする

[4] あなたは「近隣」の人々と，どの程度深い付き合いをすることが望ましいと思いますか？次の3つどれに近いですか？

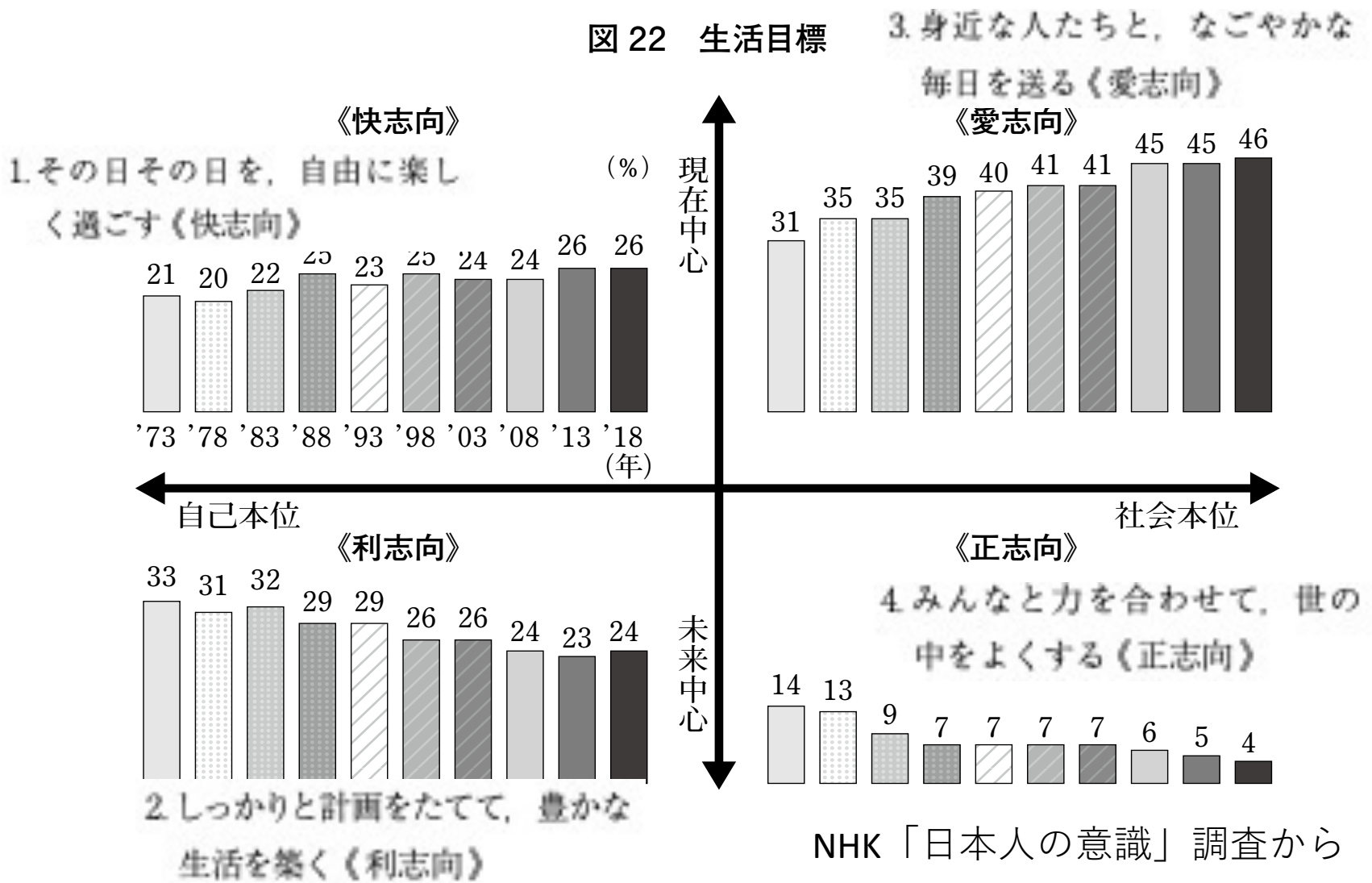
- 会った時に，あいさつをする程度の付き合い
- あまり堅苦しくなく話し合えるような付き合い
- なにかにつけ相談したり，たすけ合えるような付き合い

# アンケート3,4 NHK 日本人の意識調査と同様の項目についてお答えください。
# 皆さんの回答結果

- https://docs.google.com/forms/d/1y4h672l8amuz6SglM1ZPIcIk1xk0ECVUs6OxfvPu4rc/edit#responses

# 多くの人は，社会の中での生活の充実を求めている

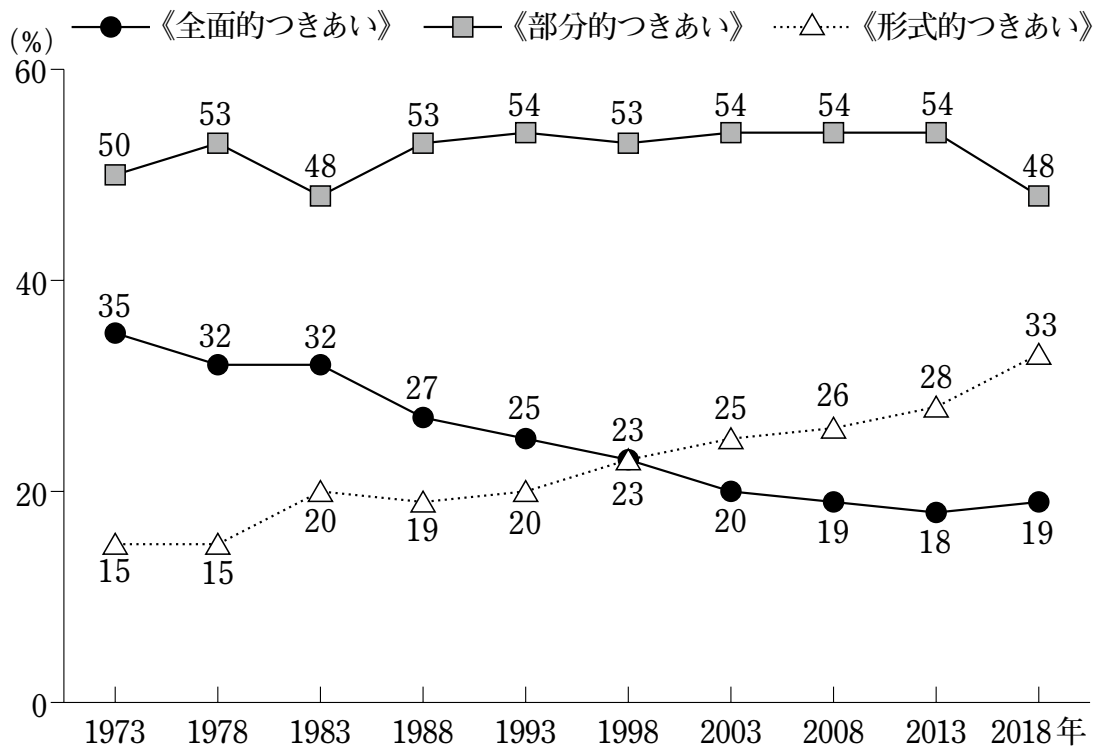
図 22　生活目標




NHK「日本人の意識」調査から

# 一方で，密着した人間関係は望んでいない（近隣）

**図 25　人間関係・近隣**



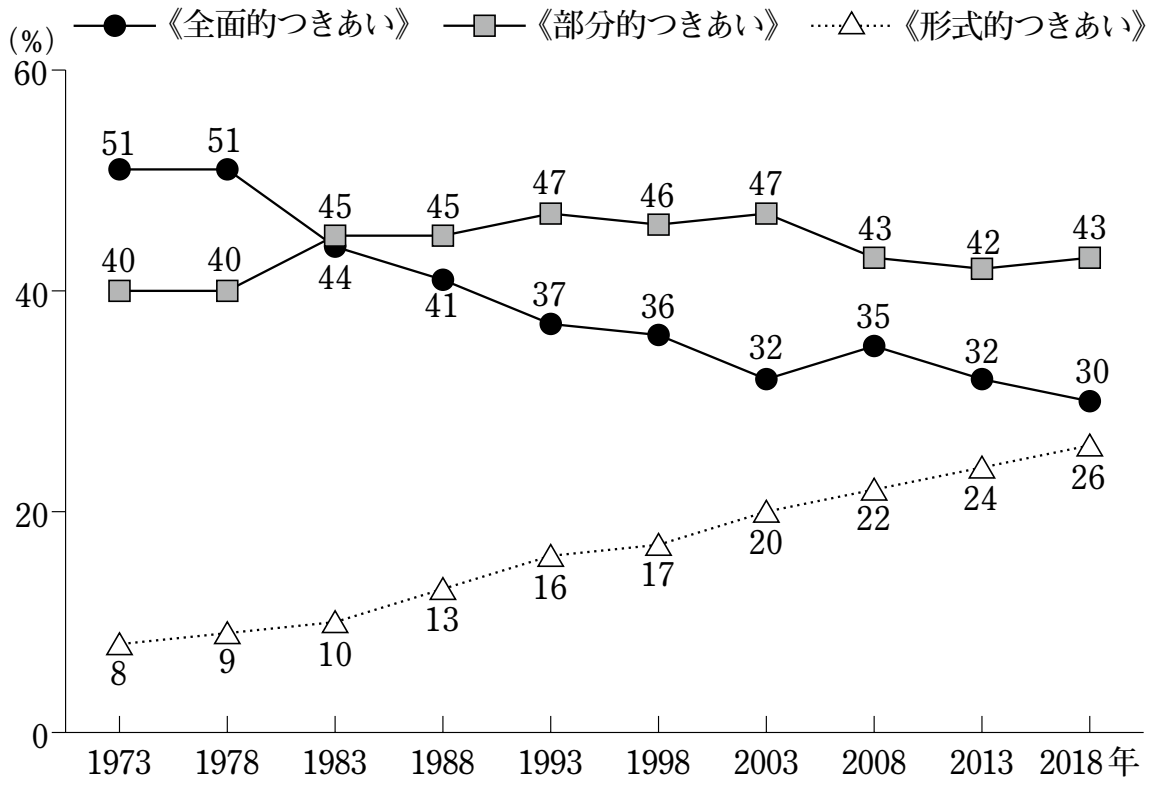

【近隣】

1. 会ったときに，あいさつする程度のつきあい《形式的つきあい》
2. あまり堅苦しくなく話し合えるようなつきあい《部分的つきあい》
3. なにかにつけ相談したり，たすけ合えるようなつきあい《全面的つきあい》

NHK「日本人の意識」調査から

# 一方で，密着した人間関係は望んでいない（親せき）

**図 24　人間関係・親せき**



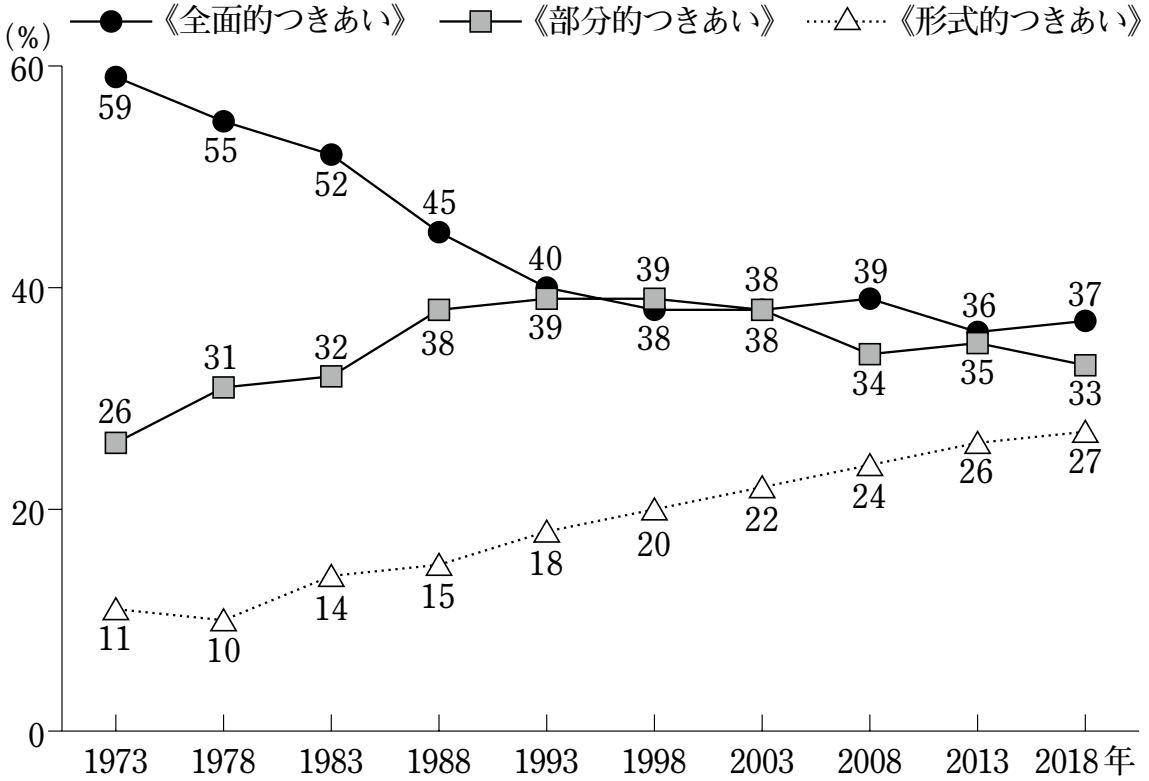

【親せき】

1. 一応の礼儀を尽くす程度のつきあい《形式的つきあい》
2. 気軽に行き来できるようなつきあい《部分的つきあい》
3. なにかにつけ相談したり，たすけ合えるようなつきあい《全面的つきあい》

NHK「日本人の意識」調査から

# 一方で，密着した人間関係は望んでいない（職場）

**図 26　人間関係・職場**



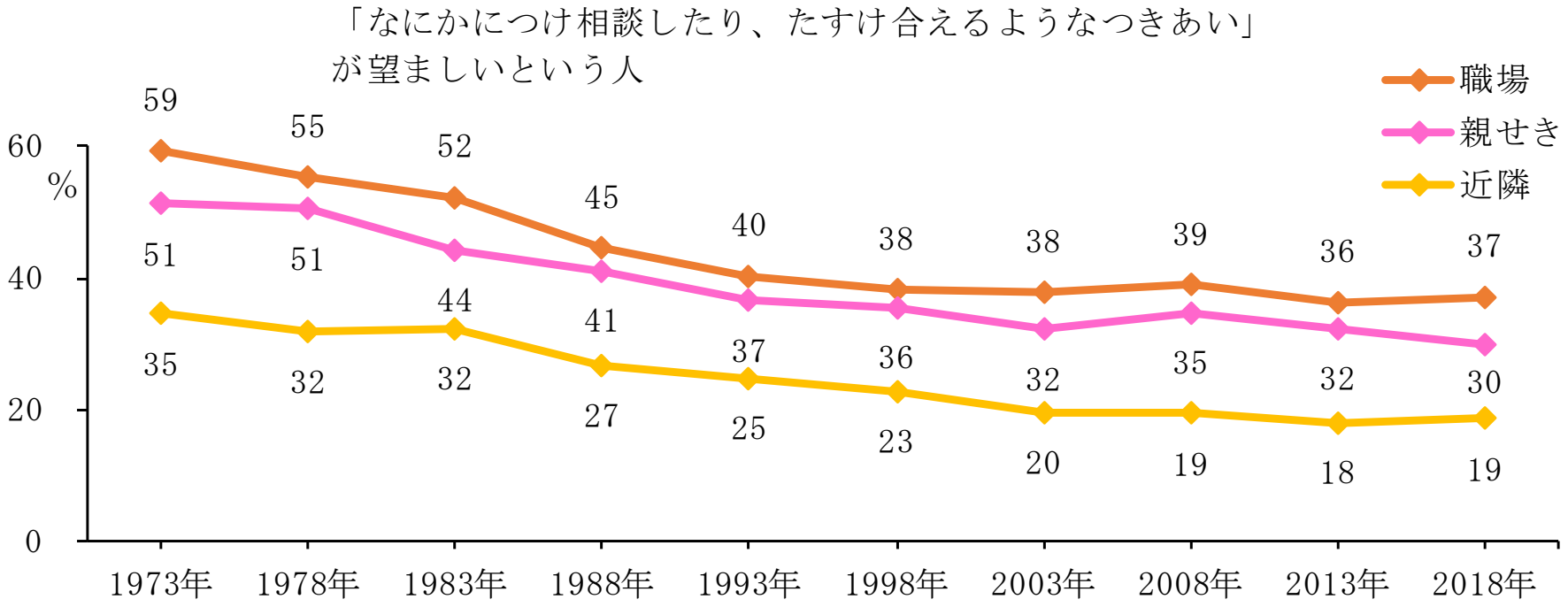

【職場】

1. 仕事に直接関係する範囲のつきあい《形式的つきあい》
2. 仕事が終わってからも，話し合ったり遊んだりするつきあい《部分的つきあい》
3. なにかにつけ相談したり，たすけ合えるようなつきあい《全面的つきあい》

NHK「日本人の意識」調査から

# 密着した人間関係は望んでいない

⑧ 職場、親せき、近隣の３つの人間関係において、「なにかにつけ相談したり、たすけ合えるようなつきあい」を望む人が長期的に減少している。最近の５年間では、親せきでさらに減少した。こうした密着した関係を望む人は、職場で最も多く、近隣で最も少ないという関係は 45 年間変わっていない。




NHK「日本人の意識」調査から

# 背景にある社会の変化
# 「共」の衰退と再構築の必要性

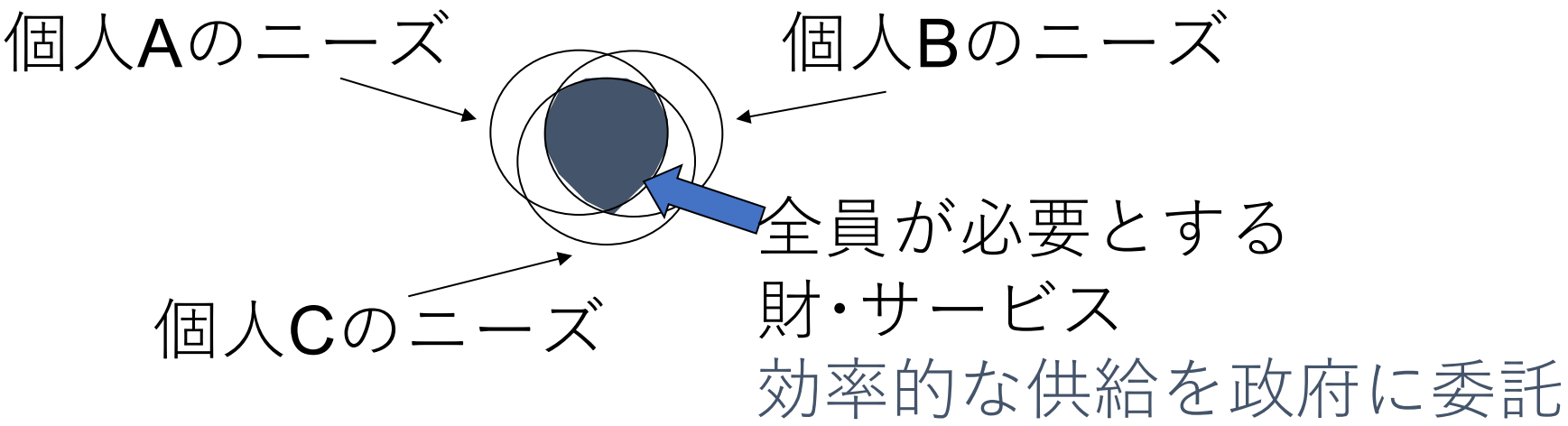
- 社会的生活の充実は，個人だけでは実現できない
  - 一方で，他人との深い付き合いは望まない
  - 実現したいが，手段がない　「共の衰退」

- 社会の複雑化，ニーズが多様化する時代
  - 従来型の行政(特に国)は多様なニーズを汲みとれない
  - 「公の限界」

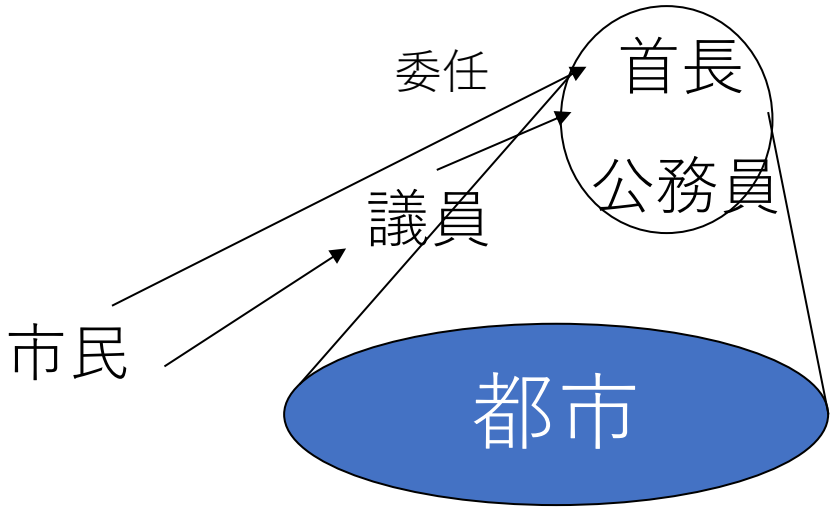
- 多様な主体が協働し，できることを持ち寄る？
  - オールマイティーな主体，政策は存在しない
  - 取り組みの成果を確認しつつ，足りない部分を補充する
  - 「私」から「共」への踏み出し

# 公共財の理論に基づく，（これまでの）政府の役割

- 人々の基本的なニーズのうちで共通する（非競合性，非排除性がある）部分を一括して供給することを，税金と引換に政府に委託
- 「何を供給すべきか」という活動目的は自明（誰もが共通して必要と思うような基本的な事柄）



# 効率的な目標達成のための一元的行政（ガバメント）




一元的行政
計画的行政（PPBS)
ガバメント

基本的なニーズのうちで共通する部分を一括して効率的に供給することを，
税金と引換に政府に委託する

何をすべきかは明確

# 時間的に見た計画論
## 目標像とのギャップから

現実を計画に合わせる

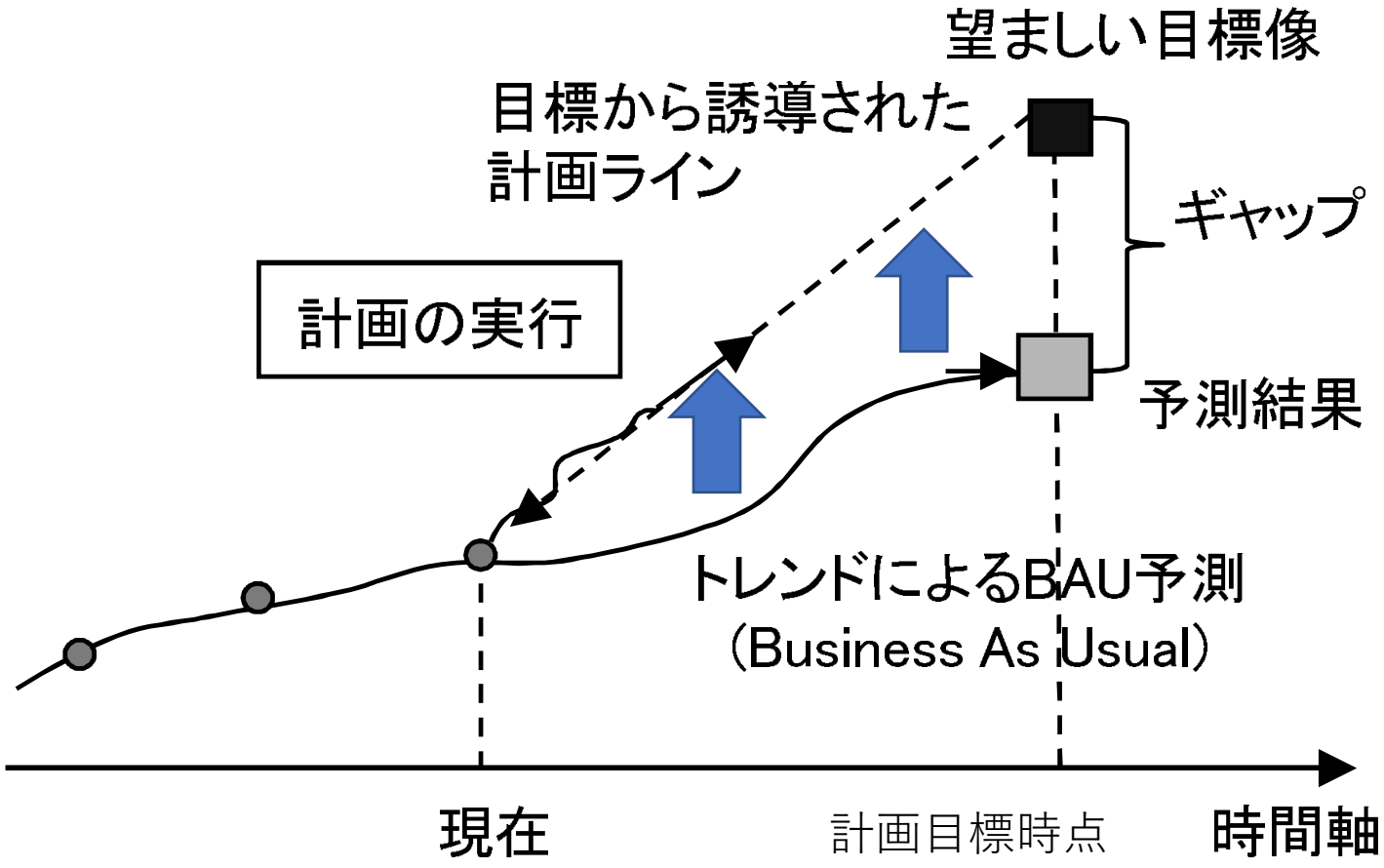
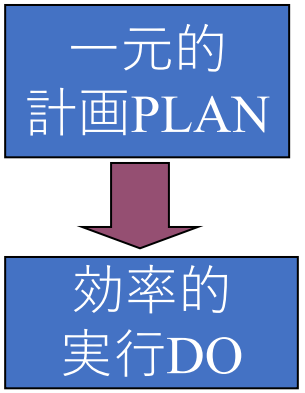



**図３**　将来の目標像とのギャップに基づく計画論

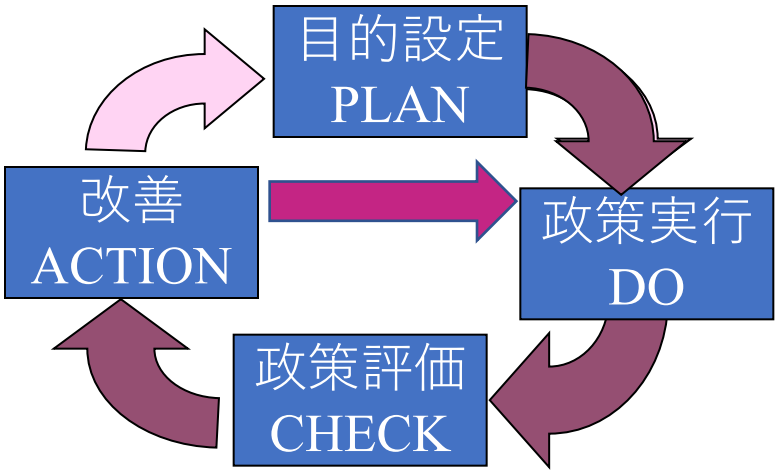
# 長期計画における進捗管理

- 当初の予定通りに，順調に計画が実行できているか
- 中間的な目標を達成できているか
- 実行方法の変更や人員，資金，資源の追加投入を検討する。




間違わない（無謬）
の行政主体が実施

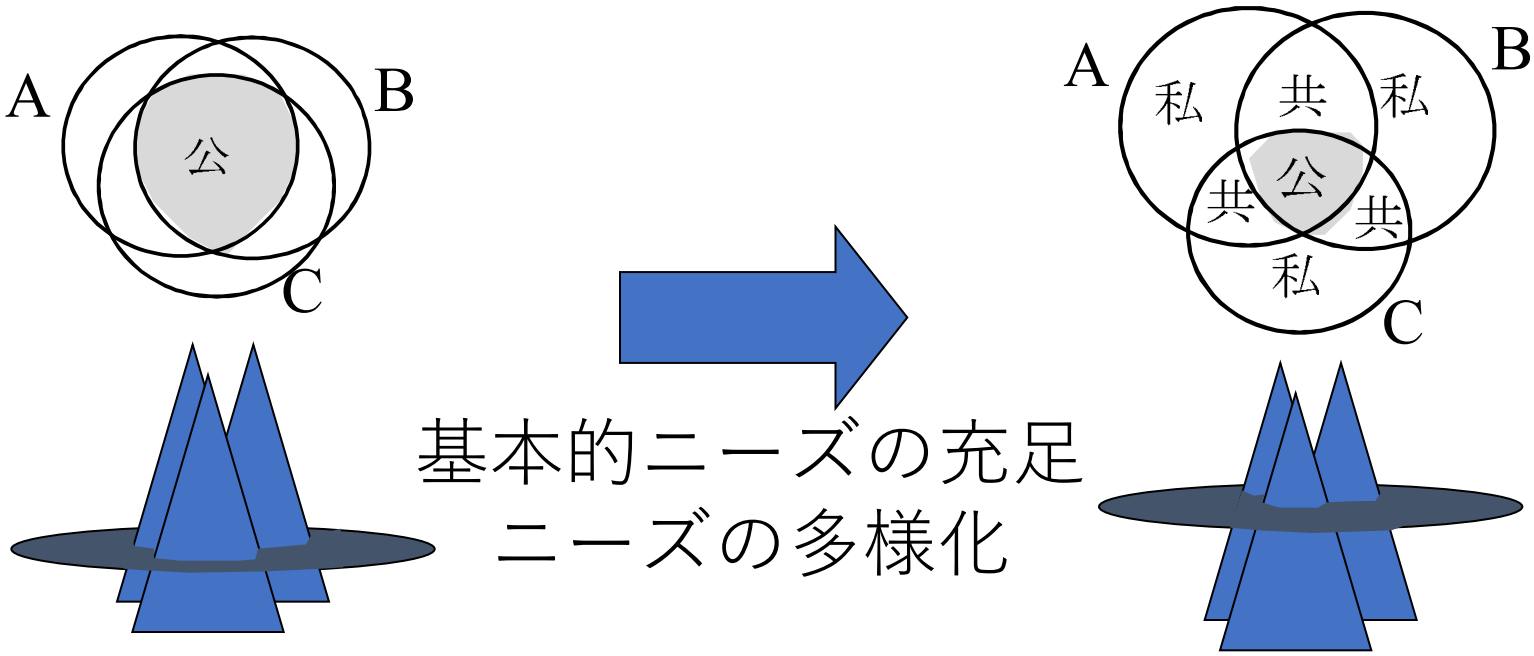
やるべきこと，目標は明確で不変




実際には，目標の見直しは行われない：
「目標に現実を合わせる」

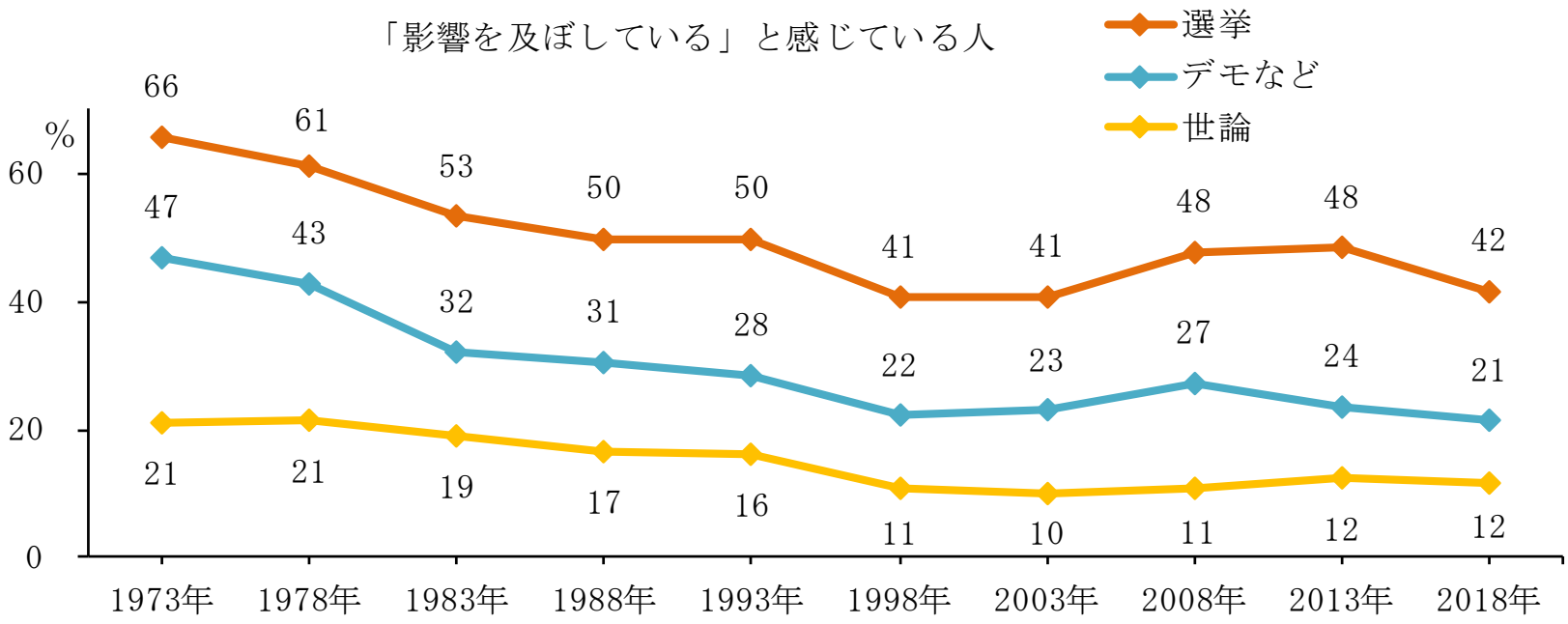
# 「公」のサービス範囲の縮小

- ニーズの多様化
  - 基本的なニーズが充足されてきた
  - 更なる段階のニーズは人によって異なる
- 「全員合意」が得られる政府の活動領域は縮小



# 国には意見が届きにくい（公の限界）

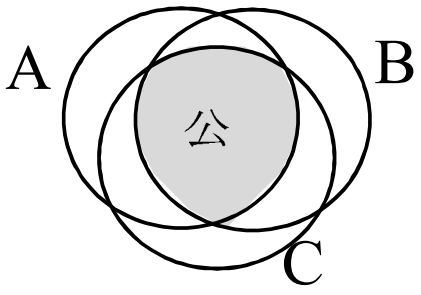
⑤ 国民の行動が国の政治に影響を及ぼしていると感じる人が、調査開始以降、長期的に減少している。「選挙」と「デモなど」の２つは 08 年に増加し、減少に歯止めがかかるかと思われたが、その後はまた減少して 03 年の水準に戻った。「世論」については、98 年からは 10%程度で大きな変化はみられない。３つの中では「選挙」が最も多いが、影響を及ぼしていると思う人は 42%と半数に満たない。



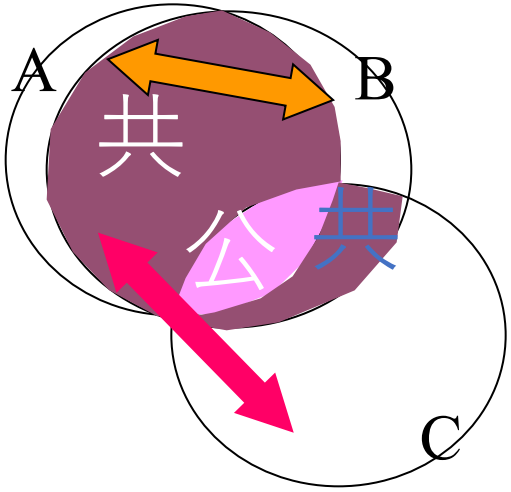

NHK「日本人の意識」調査から

# 「共治」としてのガバナンス

- 全員一致領域を相手とする「公助」「公治」としてのガバメントだけでは，満足されないニーズが残る
- 一部の賛同する関係者が集まり，財やサービスを共同供給する「共助」「共治」が必要になる(クラブ財)




実際のニーズはきれいに均等に重なっているわけではない



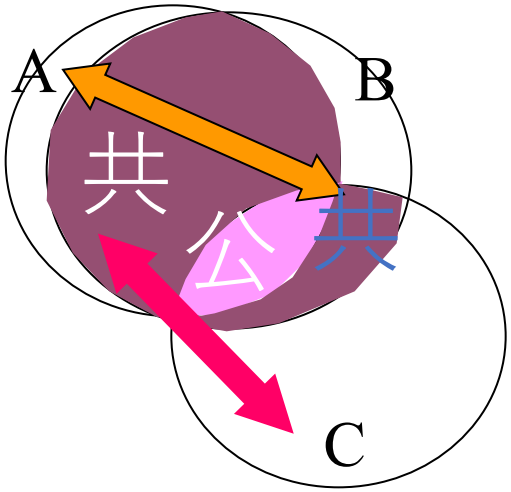
# 「共治」としてのガバナンス

- 全員一致領域を相手とする「公助」「公治」としてのガバメントだけでは，満足されないニーズが残る
- 一部の賛同する関係者が集まり，財やサービスを共同供給する「共助」「共治」が必要になる(クラブ財)

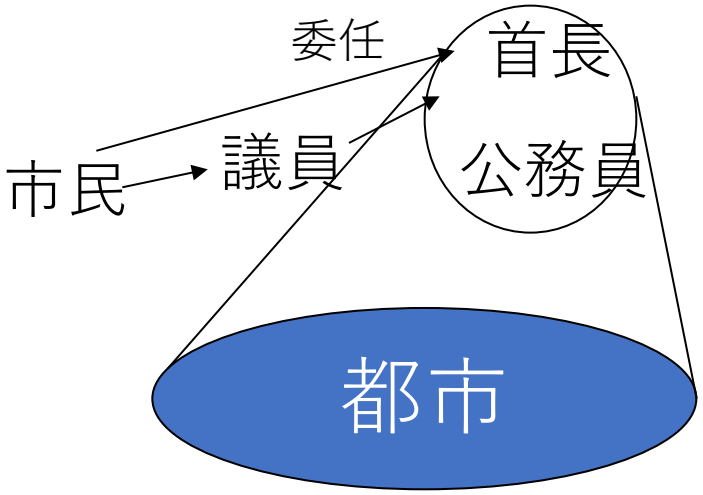
→　新たな「共」の担い手が必要となる

目的が自明ではない（不完備）

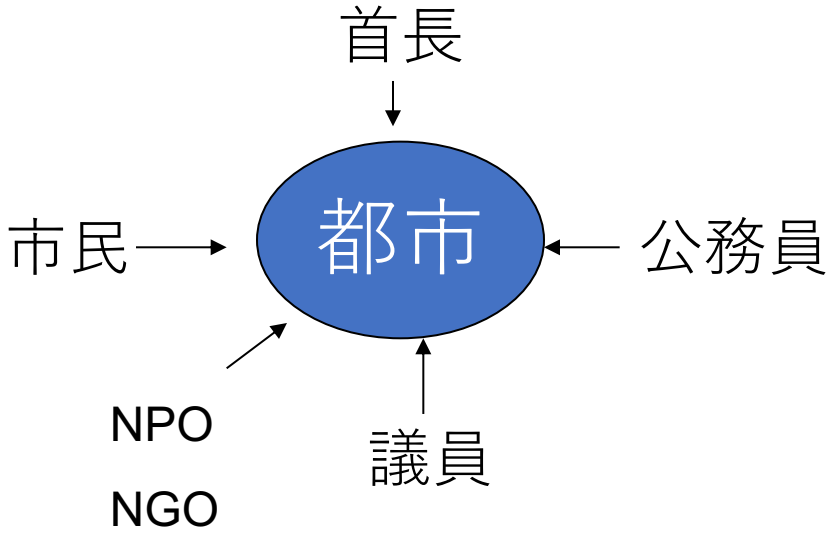
- 多数の「部分の集合」がある中で今，その部分を取り上げる理由は不明確
- 参画主体間の費用･役割分担
- 反対･非賛成の主体との調整



# 地域問題への全員出動態勢「地域ガバナンス」




一元的行政
計画的行政（PPBS)
ガバメント

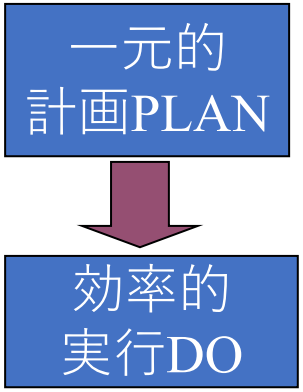



多様な主体の協働参画
による地域マネジメント
ガバナンス

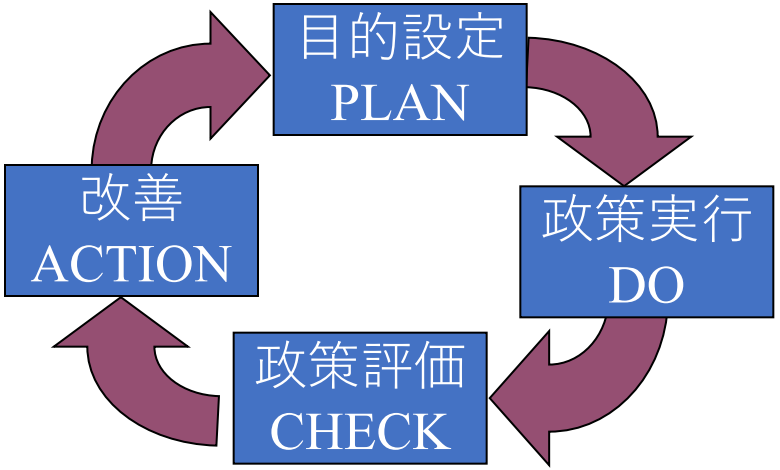
ガバナンス「権限に応じた責任」
という意味で使われることが多い

# 目的が変わりうる政策
# 最適化よりもマネジメント

- 目的が自明ではない（不完備）
  - 仮の目的を実行し、目的そのものも見直す循環プロセス
- 参画主体間の費用･役割分担
- 反対･非賛成の主体との調整
  - 単一目的計画論から繰返しゲーム理論？へ




間違わない（無謬）
の行政主体が実施




関係者（ステークホルダー）が，結集
組替え，試行錯誤の中で知識を蓄積していく

# 不確実性が大きい時代
# 試行錯誤と寛容性

- 人々の価値観が多様化する中，誰がやっても全員の要求を満たすことは難しい
- 誰のことを考えるか，協力や負担をどう配分するかを少しづつ変化させる
- やってみて，ダメならばやり直す（Error & Retry）
  - そのうちに，問題解決能力も徐々に高まる
- 「寛容性」が必要・・・

私たちの好きな仙台
佐藤ジュンコ
まちづくりは子育てと同じで失敗から学んでまたトライすることが大切です
「エラー&リトライ」ですね
遊び心や失敗を大目に見てあげることが大事

地域の資源や、知恵と技術を活用して地域と社会の問題解決に取り組むことが大切
ナイストライアル!
仙台は若者も多いのでトライアルできる人材を育てることも重要です
人材が育てば、まちの成長の幅も広がっていきますね
なるほど

仙台のこれからのまちづくりが一人一人の生活だけでなく東北、日本、世界を変えていくかもしれません
共生
活力
環境
学び

ヒントは
子育て

# 先が見えない中での重点事業選定

- 総合計画の期間中（10年）は，重要性が続く課題
  - そう簡単には解決してしまわない課題
  - 色々な立場や関心の主体が関ろうと思う課題
- あえて，位置付けや内容を明確化しない
  - 全ての人に「自分に関係あるかも？」と考えてもらう
- まずはスポットを当てるが，そこで誰がどのような演技をするかは，前例がなく現時点ではわからない．
  - 途中でストーリーが変化したり，役者が変わったり（異分野からの助力？）することも認める
  - 事前に細かに書くと，書いていないことは行われなくなる
  - 失敗しても，そこから学べばよい（Error & Retry）
- 実施計画，事業計画（2～5年）で具体化する
  - KPIなどを用いた進捗管理はその下位のレベルで行う

仙台市
SENDAI CITY

みんなで考える街の未来
PRESS仙台
2021.Mar プレスせんだい—Vol.9

# 仙台市基本計画がいよいよスタートします!

仙台市の新たなまちづくりの指針となる仙台市基本計画（2021年度～2030年度）。2年以上にわたり仙台市総合計画審議会での審議や市民の皆さまとのワークショップなどを通じて検討を重ねた計画案は、このたびの市議会第1回定例会で議決され、策定を迎えることができました。仙台市では、この新たな基本計画のもと、仙台に関わる多くの方々とさまざまなチャレンジを重ねながら、未来に向けたまちづくりを進めていきます。

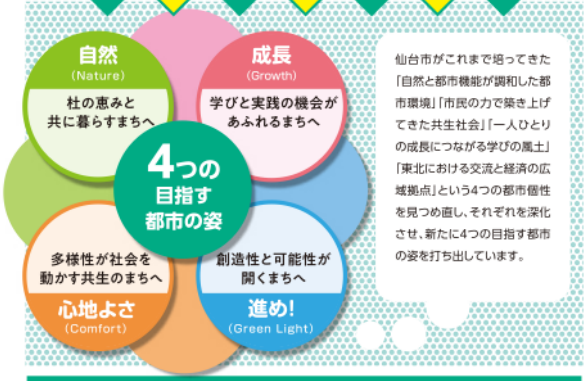
## まちづくりの理念 挑戦を続ける、新たな杜の都へ

### ～“The Greenest City” SENDAI～

今後、本市においても人口減少の局面を迎えることが予想され、さまざまな環境の変化により先を見通すことが難しい時代を迎えます。仙台市では、これまで培ってきた安心・安全なまちを基盤としながらも、「杜の都」を新しいステージに押し上げるため、新たなまちづくりの理念に「挑戦を続ける、新たな杜の都へ」を掲げました。副題は「"The Greenest City"SENDAI」。仙台の代名詞「杜の都」と親和性の高い「Green」という言葉に私たちが目指す都市の姿をリンクさせ、最上級を表す「est」を付けることで世界を見据えた高みを目指す姿勢を打ち出しました。

新しいステージに到達するためには、これまで受け継がれてきた「仙台の強み」を磨き上げ、さらにそれを掛け合わせることによって、新たな価値を生み出していくことが必要です。この理念のもと、市民、事業者、地縁団体など仙台に関わる方々との協働を重ねながらまちづくりの挑戦を続け、仙台らしさが輝き、多くの方々から選ばれる「新たな杜の都」をつくっていきます。

## 目指す都市の姿




仙台市がこれまで培ってきた「自然と都市機能が調和した都市環境」「市民の力で築き上げてきた共生社会」「一人ひとりの成長につながる学びの風土」「東北における交流と経済の広域拠点」という4つの都市個性を見つめ直し、それぞれを深化させ、新たに4つの目指す都市の姿を打ち出しています。

## 8つのチャレンジプロジェクト

住民や地縁団体を中心に多様な力を合わせながら、仙台の特性を最大限に生かして重点的に取り組む「8つのチャレンジプロジェクト」を掲げています。

**CHALLENGE PROJECT 1 杜と水の都プロジェクト**
自然と調和した都市空間の形成を目指した、定禅寺通などにおける楽しめる空間づくりや、広瀬川等の親水空間づくり、東部沿岸地域のにぎわい創出など

**CHALLENGE PROJECT 2 防災環境都市プロジェクト**
「杜の都」の豊かな環境を守り、災害リスクの軽減につなげる都市環境づくりを目指した、感染症を含めた危機への対応力向上やグリーンインフラの充実など

**CHALLENGE PROJECT 3 心の伴走プロジェクト**
多様性を尊重し、あらゆる人が安心して暮らせる地域を目指した、多様性への理解の推進、ひきこもり・貧困等への社会的自立支援、いじめや児童虐待等の未然防止など

**CHALLENGE PROJECT 4 地域協働プロジェクト**
住民の知見などを生かした地域課題解決や魅力づくりに向けた、誰もが活動しやすい環境づくりや世代・立場を超えた実践の場づくりなど

**CHALLENGE PROJECT 5 笑顔咲く子どもプロジェクト**
子どもたちの健やかな成長を目指した、子どもたちの自己肯定感やコミュニケーション能力の育成、子育てを楽しめる環境づくりなど

**CHALLENGE PROJECT 6 ライフデザインプロジェクト**
人生100年時代における自分らしく充実した暮らしの実現に向けた、文化芸術や歴史などに親しめる環境づくりや誰もが活躍できる環境づくり、健康づくりなど

**CHALLENGE PROJECT 7 TOHOKU未来プロジェクト**
東北発のイノベーション創出を目指した、ビジネスに挑戦しやすい環境づくりや新しい技術が生まれる環境づくり、広域周辺観光など

**CHALLENGE PROJECT 8 都心創生プロジェクト**
人が集い、新しいチャレンジが生まれる都心を目指した、国際競争力のあるビジネス環境づくりやまちの回遊性向上に向けた取り組みなど

## 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を踏まえて

●今後も起こりうる危機に対応するため、幅広い分野にデジタル技術を積極的に取り入れるなど、社会の変化への対応力をさらに高め、安全・安心な生活基盤を守り抜いていきます。
●リスクの分散や働き方の多様化による地方への関心の高まりを的確に捉えながら、緑豊かな自然と都市機能が調和する仙台の優位性に磨きをかけ、多くの方から選ばれる都市の実現を目指します。

## 基本計画の構成

基本計画は、上記のチャレンジプロジェクトのほか、地域づくりの方向性、市政運営の基本姿勢・都市構造形成の方針、計画の進行管理の4項目を主な柱として構成されており、これらを通じて、まちづくりの理念や目指す都市の姿の実現に向けた着実な取り組みを進めていきます。また、地域のより詳細な特性を踏まえて区ごとの取り組みの方向性も作成しました。

2021年（令和3年）3月27日（土曜日）　河北新報朝刊掲載

# 新しい杜の都に向けて

仙台ならではの強みを確認し，これからのまちづくりの理念と，目指すべき都市の姿を考えています

「挑戦を続ける，新たな杜の都へ
～ To “The Greenest City” SENDAI ～」
という理念のもとで，
環境，共生，学び，活力という４つの
都市個性をより深化させ，「杜の都」
を新しいステージに押し上げる挑戦を
はじめます。

# 大きな方向性の共有

「これからの演劇はどんなジャンルの話なのか？
メロドラマ？冒険もの？ラブストーリー？」

明るい
前向きな
キャッチ
フレーズ

2021年（令和3年）3月27日（土曜日）　河北新報朝刊掲載

# 8つの重点プロジェクト

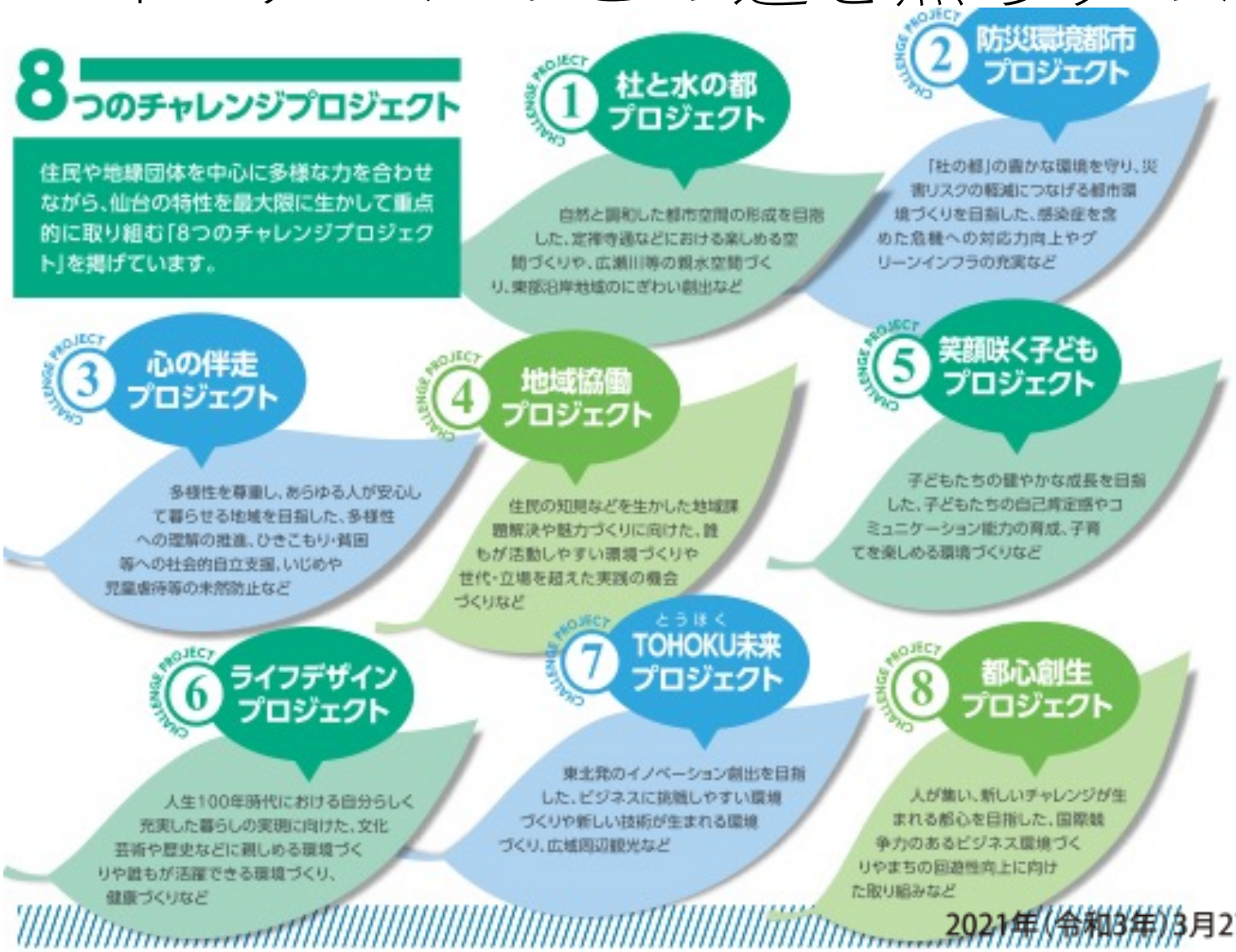
この新しいまちづくりへの挑戦に私たちみんなが関わって，知恵や技術を持ち寄る場所

社会や技術の変化のスピードが早くなり，将来の状況を見通すことが困難な時代には，やるべきことを綿密に議論して決めることが難しく，固定的な計画を実施するだけでは新たに発生してくる問題にも対応できません。

むしろ大まかな方向を決めて，解決が迫られている問題を取り上げ，解決に向けて多様な方々との協働をはじめる，具体的な課題を考え，解決に取り組む中で，問題解決の能力が高まり，より困難な問題への取り組みも可能になるでしょう。

8つのプロジェクトの中に，私たち一人一人が参加できる挑戦の場が見つかるのではないでしょうか。

# スポットライトの場所の設定
# 「ステージのどの辺を照らすのか？」




2021年（令和3年）3月27日（土曜日）　河北新報朝刊掲載

# アンケート5　あなたは,どのプロジェクトに貢献できそうですか？

https://forms.gle/HUaHYKqQaYZ6HTyP7

1. 杜と水の都プロジェクト
2. 防災環境都市プロジェクト
3. 心の伴走プロジェクト
4. 地域協働プロジェクト
5. 笑顔咲く子どもプロジェクト
6. ライフデザインプロジェクト
7. TOHOKU未来プロジェクト
8. 都心再生プロジェクト

# アンケート5　あなたは,どのプロジェクトに貢献できそうですか？

皆さんの回答結果

https://docs.google.com/forms/d/1-SS2ZQMRIWfDL8bYo7jHEtPiJtkdunTdaYnyYX92vH8/edit#responses

# 政策評価の発想転換が必要

- 減点思考から加点思考へ
  - 全ての主体にプラスとなるような政策は見つけにくい.
    - 「マイナスがあるから実行しない」のでは何もできない
    - 「プラスがあるなら実行してみる」必要がある.
  - 厳格なKPIの設定は，努力の方向を歪める危険がある
    - KPIに差が出ることだけに努力を集中する傾向を生む
- 待ちの姿勢からチャレンジの姿勢に
  - 失敗を恐れて実行しなければ改善せず，学ぶこともできない.
- 三人称の政治から，一人称の統治へ
  - 「彼」の行動に不満を出すのではなく，「私たち」に何ができるかのアイデアを出す.
  - J.F.Kennedy 「合衆国が我々に何をしてくれるかではなく，我々が合衆国に何ができるのかを考えよう」

# John F. Kennedy

第 35 代米国大統領 John F. Kennedy(1917-1963)
は,1961 年の大統領就任演説において
「Ask not what your country can do for you.
– Ask what you can do for the country. 」
(合衆国が我々に何をしてくれるかではなく,
我々が合衆国に何 ができるのかを考えよう)
と呼びかけた。
市民は,政治を三人称の彼らが行うものと 考えその結果に不満をぶつけるのではなく,一人称によるガバナンスとして捉え,私 たちに何ができるかのアイデアを出す姿勢が必要である。

# 先が見えない時代：戦略の方向

- 短期的，単一的，決定論的な戦略の限界
  - 環境，技術，市場の急激な変化，災害への対応
- 負傷，発病，解雇などの個人的な状況変化
  - これまでの当たり前が実行不能となり，考えたこともないようなニーズが急に発生するかも？（exコロナ）
- 異なる目的への転用の可能性も
  - 維持費を稼ぐための緩やかな使い方の許容(ソフト改革)
  - 連続・大型公共空間（確保困難だが切売は簡単）
- 長期的，複線的な見方の重要性
  - 職業×訓練，事業×教育，生活支援×教育
- ストックや，経験による能力の蓄積を大切にする
  - 短期的な判断でストックを廃棄しない
  - 少しずつでいいから蓄積を始める・続ける
  - 出来上がりに完全を求めない．継続は力！

# 複線的なライフスタイル・土地利用

- 仙台の市民は「標準的」ではない
  - 全国転勤を想定してなかなか持ち家を買わない
- 出生から死亡まで仙台から出ない割合は少ない
  - 違うライフスタイルを「渡り歩く」
  - 準備段階の人も：平日勤務＋週末農業研修etc
- 生活の中で異なる役割をマルチにこなす人も多い
  - 仕事，趣味，介護，ボランティア，学び，教えること
  - 最小限の移動時間で，色々なことに参加したい．
- 工場ではなく職住一致型の「仕事」も多い
  - ITやソフトウエア，介護，生活支援サービス・・・
- 運用・利用の自由化による可能性の発掘が課題

東日本大震災や新型コロナウイルス感染症など、何が起こるか見通せない時代の中で、壁にぶつかり、次の歩みをどちらに踏み出すのかを迷ったときに、皆さんに方向を示し足元を照らしてくれる基本計画になれば、との思いを持ち、総合計画審議会で検討を行いました。

東北大学教授
（総合計画審議会 会長）
奥村 誠

理想像となる高い山に今すぐ登ろうとするのではなく、時には失敗もしながら、これが大事だということを一歩一歩積み重ねて理想の方向に近づけていく。その中で、さまざまなアイデアが出てきて、自分も他の人と一緒にやってみようという声が出てくる。市民の皆さんや企業などそれぞれの知恵や力を持ち寄りつつ、「次にもっとできることはないかな」と、みんなが気軽な挑戦に取り組むようなまちに、仙台がなればと考えています。

2021年（令和3年）3月27日（土曜日）　河北新報朝刊掲載

# まとめ

- 市民が願う将来像はさまざま
  - 「みんな違ってみんないい」と言っても，「みんな実行」できる財源や人員はない
- 「公」（国や市町村，行政）に頼ることは困難
  - 「公」は「全員一致」ではない課題には向いていない
- 一部一致の課題に取り組む「共」の強化が必要
  - 地域ガバメントから地域ガバナンスへ
  - 力を集めるための旗印としての「計画」
- 仙台市基本計画は2021.3に議会承認されました
  - 実際にうまくつかわれていくかは，これから
  - 行政の問題というより，市民全体の問題
- 皆さんも，どこに参加できるか？を考えて